

STUDY TOUR

IN AUSTRALIA 2025



YAO HIGH SCHOOL

④ 27 JULY

-7 AUGUST, 2025

④ STUDY WITH:

GEORGES RIVER GRAMMAR

④ BRING BACK

MEMORIES

八尾高等学校同窓会主催

TABLE OF CONTENTS

1

国際交流委員会より

2

研修日程

3

生徒の感想

4

付添教員の感想

5

生徒アンケート結果



国際交流委員会より

本校では「多様性を理解し、共に未来を創る力を育む」ことを国際交流の理念として掲げています。異なる文化や価値観を尊重し、協働する姿勢は、グローバル化が進む現代社会において不可欠な力です。

海外スタディツアーハワイは2014年に第1回をハワイで実施し、今年で第9回を迎えました。これまで本校は、語学研修のみならずホームステイと現地の生徒との交流を組み込んだプログラムを継続してきました。語学の習得だけが目的ではなく、現地で生活する人々の考え方や文化に触れることこそ、国際化の時代において最も大切な学びです。最も多感な高校時代に世界にふれる体験は、かけがえのないものであり、生徒の視野を広げ、将来の進路や生き方に深い影響を与えます。

今回訪問した Georges River Grammar校（オーストラリア・シドニー）との交流は、2023年のツアーから始まり、昨年は本校に20名の生徒を迎えることができました。現地の生徒との対話や共同活動を通じて、言語だけでなく文化や価値観の違いを理解し、互いに学び合う関係を築くことができました。姉妹校締結により、今後の相互の文化交流がどのように学校文化として花開いていくのか、私たちは大きな期待を寄せています。



本校の海外スタディツアーハワイは、こうしたコンセプトを守りながら、今後も継続していきます。この取り組みを支えてくださった保護者、同窓会の皆さんに心より感謝申し上げます。引き続き、国際交流を通じて生徒の可能性を広げる本校の挑戦に、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大阪府立八尾高等学校 国際交流委員会



旅行日程表



旅行期間: 7月27日(日)~8月7日(木)まで 12日間

日時	月日	スケジュール	宿泊先
1日目	7/27 (日)	関西国際空港集合 10:55 シンガポール空港619便にて空路、シンガポールへ 16:30 チャンギ国際空港到着、乗り継ぎ 20:20 シンガポール空港221便にて空路、シドニーへ	機内泊
2日目	7/28 (月)	05:55 シドニー国際空港到着、入国手続き 07:15 専用車にてシドニー市内の観光へ オペラハウス、ミセス・マッコーリーズ・ポイント マンリービーチ立ち寄り 11:30 シドニー市内レストランにて昼食 15:45 現地校 Georges River Grammar にてホスト ファミリーと対面、各家庭へ	ホーム ステイ
3日目	7/29 (火)	終日： 大学訪問（ニューサウスウェールズ大学） 大学生とのキャンパスツアー等実施 訪問終了後、ホームステイ先へ	ホーム ステイ
4日目	7/30 (水)	現地校 Georges River Grammar へ 午前： オリエンテーリング & ESL研修 午後： 現地授業参加 授業終了後、ホームステイ先へ	ホーム ステイ
5~6 日目	7/31(木) 8/1(金)	現地校へ 午前： ELS研修 午後： 現地授業参加 終了後、ホームステイ先へ	ホーム ステイ

日時	月日	スケジュール	宿泊先
7~8 日目	8/2(土) 8/3(日)	終日： ホームステイ先で過ごす	ホーム ステイ
9日目	8/4 (月)	現地校へ 午前： ESL研修 午後： 現地授業参加 授業終了後、ホームステイ先へ	ホーム ステイ
10 日目	8/5 (火)	ホスト送迎で現地校へ 午前： ESL研修 午後： フェアウェルパーティ 授業終了後、ホームステイ先へ	ホーム ステイ
11 日目	8/6 (水)	08:15 各家庭出発シドニー観光へ シドニー水族館見学 ショッピングセンター立寄り、自由昼食とショッピング 15:00 シドニー国際空港着、チェックイン手続き 18:05 シンガポール航空242便にて空路、シンガポールへ	機内泊
12 日目	8/7 (木)	00:20 チャンギ国際空港着、乗り継ぎ 01:25 シンガポール航空618便にて空路、関西へ 08:20 関西国際空港到着、入国手続き等 09:20 受託荷物受け取り、税関通過後流れ解散	おかえり なさい



NO SLEEPING IN AUSSIE CLASSROOMS

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリア研修に行ってみて日本よりも鳥や木、海などの自然と近いし、都会に行くとTHE 海外っていう感じのビルや建物もたくさんあってそこで海外にいるのを実感しました。日本では動物園で見るようなオウムがホストファミリーの家に10匹以上来て驚いたし、家でパンをオウムに手から直接あげるという、日本ではなかなかできない経験をすることができた楽しかったです。現地の学校ではバディーの子はもちろん、他の子たちもみんなとても優しかったです。現地の子たちも私達が英語を勉強するのと同じよう日本語の勉強していくとても上手で驚きました。「日本語で〇〇はなんて言うの?」と英語で質問してくれて私たちが英語の勉強をするだけではなくて、お互いに自分の国のこと教え合うことができて楽しかったです。授業中に喋っている子はたくさんいたけど、日本みたいに、寝てしまっている子は学校に通っている間、1人も見なかつたのすごいと思いました。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・季節が反対（涼しい）
- ・みんなフレンドリー
- ・日本では食べられない食べ物を食べれる

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・今まで苦手だった食べ物が食べれるようになった
- ・今までよりも英語が好きになった
- ・オーストラリアにも関西弁のようなスラングというのがある
- ・いろんな人種の人がいる
- ・一人でできることが増えた

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・寝るのが早い
- ・授業中めっちゃ喋る
- ・動物園で見る鳥が街にいる
- ・乾燥してる
- ・雨で店を閉める

SURPRISED BY AUSSIE ENGLISH

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



私がオーストラリア研修以前と以後で気づいたことはいくつかあります、まず1つ目はオーストラリア英語です、オーストラリアには普通の英語とは違うオーストラリア英語というものがあり、普通の英語とはぜんぜん違うような単語がたくさん出てきました、まずそこに驚きました。2つ目は習っていた英語との違いです、一番印象に残ったのは起きろです、自分はお起きるをGET UPで習っていましたが、向こうではWAKE UPだったことに驚きました。3つ目は思っていたより向こうの人がフレンドリーで積極的だったことです、ホームステイ先の人も、自分たちははじめはすこしひびきしていたけど、向こうの人がとてもフレンドリーで、ゆっくりなわかりやすい英語で話してくれて、僕達もどんどん積極的に話すことができ、向こうの学校では、みんなが名前を聞いてきたりとてもフレンドリーで年も近いこともあり、いろんな国の人とも英語で話すことができ、とても楽しかったです。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・フレンドリーになる
- ・積極的になる
- ・英語を話せるようになる

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・気候
- ・自販機にお菓子が売っていない
- ・オーストラリアは日本の約20倍
- ・日本はお店を占める時間がオーストラリアより遅く感じた
- ・日本と違って温かいお湯が15分もでなかった

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・みんな積極的だった
- ・物価が高かった
- ・キャッシュレス化がすごく進んでいた

FREEDOM AND FUN DEFINE AUSSIE SCHOOL LIFE

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリア研修で日本とオーストラリアの違いを特に実感したことは学校での日々の生活です。日本の学校では基本的に1時間ごとに休み時間がありますがオーストラリアにはありませんでした。初めてこの話を聞いた時はそんなので疲れないのかなと思っていたけど実際は全く疲れませんでした。全ての授業で自由な雰囲気がでていて全く疲労感がなかったです。そして昼休みでは自由な場所で昼ごはんを食べることができました。そして何より一番楽しかったのは、オーストラリアで布教されているスポーツのピックルボールです。このスポーツは昼休みに行うことができ、学年、男女関係なく楽しめます。僕自身は日本の学校よりもオーストラリアの学校の方が楽しいと感じることができました。あともう一つ驚いたことは学校の授業です。日本の学校では基本的に学年の全員が同じ授業を受けますが、オーストラリアでは、学年の中でも難しいことを学ぶクラスと簡単なことを学ぶクラスで分かれています。僕が行った中3の授業では難しい方を学ぶクラスでは高2内容をしていたけど簡単なクラスでは中1内容をしていました。僕はこのようにクラスが分けられているのはとてもいいことだと思います。勉強が苦手な人はゆっくり進み、得意な人は早く進めるのでそれぞれ個人の能力が上がるの日本でも取り入れたらいいのになと感じました

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・英語がペラペラになる
- ・海外の文化を知るようになる。
- ・オーストラリアに沢山の友達ができるようになる。

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・オーストラリアの食生活をしらなかった。
- ・英語がとっさに出るようになった
- ・トイレが滝のトイレやった
- ・学校が自由な雰囲気だった
- ・ピックルボールという日本にはないスポーツがあった

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・ゴミ箱が多い
- ・学校が自由
- ・家が広い

FINDING CONFIDENCE THROUGH AUSSIE STUDY TOUR

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリア研修を通して、私は表現力の大切さというものを学びました。なぜなら、話したいけど英語でどう言えばいいかわからないときにジェスチャーで伝えることができるので恥ずかしがらず、積極的にやるべきだと感じた。あとは、日本人と比べてオーストラリア人は積極的にどんどん話しかけてくれると思った。現地校に初めてきたときもたくさんの人々に囲まれて、教室に行けないぐらいいろんな質問をされたし、道を通るときもHELLOやこんにちはとあいさつをしてくれたことに驚いた。また、ホームステイでホストファミリーと自分たちで映画を見ていて、もちろんそれは英語で、最初は、字幕だけやし、分からなかったと思っていたけど、実際は理解することができて、映画を楽しく見ることができて英語の字幕が読めてとても嬉しかった。スタディツアーを通して、自分の英語に少し自信がついたし、英語を恐れなくなった。それと同時に日本語で通じ合い、普通に会話できることができがどれだけ素晴らしいことか感じることができた。本当にとても良い経験だったと思った。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・英語を恐れなくなる
- ・簡単な会話ができるようになる
- ・リスニング能力が向上する

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

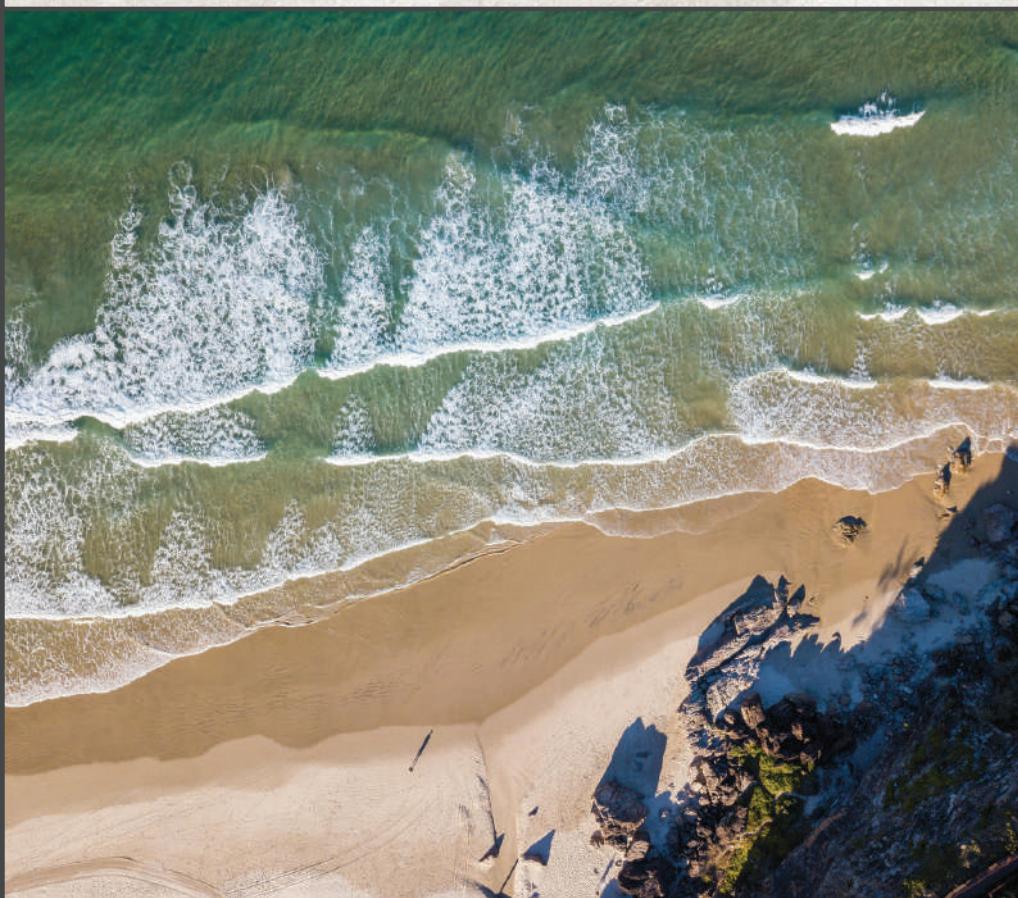
- ・英語の字幕が理解できるようになった
- ・現地校の友達とチャットをしていたらpleaseをplsと略していた
- ・あなたと言うときにuと書いていた
- ・外国人とチャットができるようになった
- ・表現力の大切さを知った

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・学校のみんなから話しかけられて会話にとても積極的だと感じた
- ・ご飯は自分で詰めたり、作ったりすることに驚いた
- ・家がめっちゃデカかった

KINDNESS AND CULTURE SHOCK IN AUSTRALIA

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリアの人はとても親切で私達が困っていたらきにかけて助けてくれ、言語がつうじない時もあったがそれでも一生懸命伝えようとしてくれて嬉しかった。そして自分も相手に伝えるために身振り手振りで自分の伝えようと頑張ることができた。

また、日本では馴染みのないお菓子やごはんもたくさん食べられし文化についても日本とは全く違うくて最初は戸惑ったりもしたけれどそれもまた今まで味わったことのない新鮮な経験で楽しかったし、いい経験になったと思う。私は海などの自然なものがも好きなので自然が日本よりたくさんあって嬉しかったしとてもきれいだった。そしてこのオーストラリアの留学を通して英語に対して親近感が湧き英語の苦手意識が薄れて行ってよかったです。オーストラリアの学校に通っているときに日本との授業方法全然違うし、生徒みんなが積極的に発言していてすごいなと思ったしここで日本とオーストラリア差を強く感じた。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・英語力の向上
- ・文化を知る
- ・コミュニケーション能力の向上

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・英語に対する苦手意識が薄れた
- ・英語は身边にあると感じた
- ・オーストラリアの人達がフレンドリー
- ・すごい自分達に興味を示していて親切だった
- ・活発だった

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・以外と治安が良かった
- ・自然が多くかった
- ・オーストラリアの人がとても親切だった

DISCOVERING MULTICULTURAL AUSTRALIA

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



私は、このオーストラリア研修を通して様々なことを学べました。まず、オーストラリアと日本はそれなりに近い場所に存在しているので日本の文化が入っているなと思うところです。ホームステイ先に日本語で書かれた調味料があったり、醤油があったり、アニメが人気だったりしていました。最終日のフードコートでも日本食のお店がたくさんあってすごいなどと思いました。もちろん日本の文化だけでなく様々な文化を取り入れられていたので、オーストラリアは多文化主義ということに改めて気づきました。

学校では、授業の違いに驚きました。時間割もそうだけど時間にルーズなところがあったりして日本とは違うなと思いました。内容も全然違うくて、宗教の授業があって驚きました。学校全体がキリスト教らしいです。聖書の第五章の言葉から…や祈りとはなにか…を学んでいてとっても驚きました。

一番驚いたのは食文化の違いです。夕食がいつも5:30ぐらいから始まっていたので早いなと思いました。そしてホストファミリーたちは食べるのがとても早く、いつも私達が最後に食べ終わっていました。量も少なくて、日本と違うなと思ったものの最後の方は慣れました。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・語彙力の向上
- ・他のメンバーと何かよくなって、協力して英語を話すこと
- ・海外での暮らしに慣れる
- ・ほぼ無意識に英語を話す

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

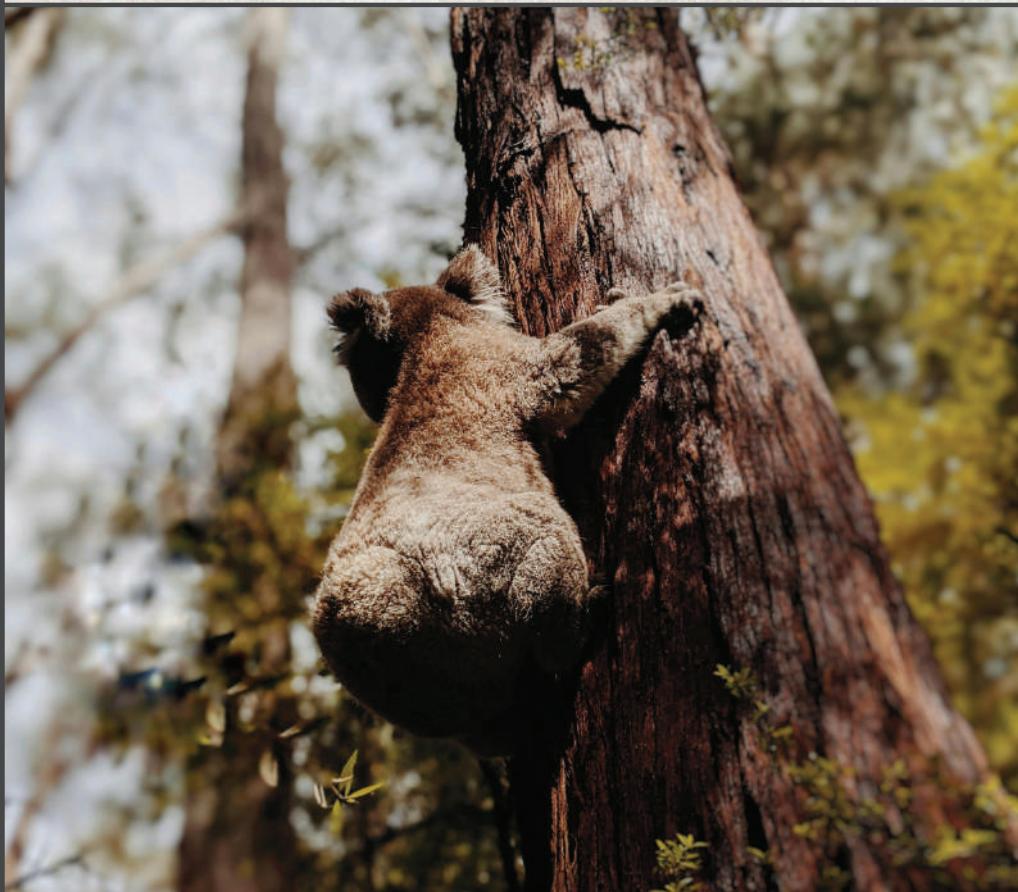
- ・英語で話すときの相槌
- ・積極的に英語で話せるようになった
- ・外国の食べ物にも慣れた
- ・日本食のお店がいっぱいあった
- ・お風呂があった

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・食文化の違い。量とタイミング
- ・みんな寒そうな服装をしていた。
- ・ほとんど車しか使わない

FRIENDLINESS FIRST IN AUSTRALIA

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



店員さんにも挨拶するのが基本で、誰にでもフレンドリーに接することが大切だと思いました。学校では年上年下関係なくみんな平等に接してくれるのでとても楽しかったです。自然が多く、とても広い国立公園や、綺麗なビーチ、野生の動物など、日本では触れ合うことのできないものとたくさん触れ合うことができて自然の豊かさに驚きました。また物価が高く、節約しようと心がけていました。

オーストラリアは色んな国の人いるので食生活や、イベント、日常生活の様々な場面で多様な文化が反映されていて異文化にふれる機会がとても多かったと感じます。また、様々な人とコミュニケーションのお陰で自分の視野が広がったと感じます。

この12日間で価値観の多様性の理解や、自己管理能力、自立心の向上など自分の将来につながる力がたくさんついたと感じています。この機会でたくさんのこと経験できてよかったです。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・英語を少しでも聞き取れるようになる。
- ・コミュニケーション能力を身につける。
- ・自分でどうにかする能力を身につける。

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・リアクション
- ・水を大切にする気持ち
- ・動物を大切にする気持ち
- ・自然を大切にする気持ち
- ・食生活

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・食生活が違すぎる
- ・トイレ事情
- ・水を大切にする

FROM HATING TO LOVING ENGLISH

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



私はオーストラリア研修以前では英語を話すのが恥ずかしくて友達や先生と話すことに抵抗がありました。また、英語が嫌いで積極的に話すことも英語に触れることも避けっていました。ですが、オーストラリアに行ってからは、英語に触れざる終えない状況になり英語を聞いたり話したりすることが増えて英語を好きになったり、少し耳が英語に慣れて聞き取れるようになりました。また、ホストファミリーの家で嫌いなものが出てきたとき頑張って食べることも大切なのかもしれません。残すのは申し訳ないから無理して食べるなどはせず嫌いなものは嫌いと自分を表現するのも大切だなと思いました。自分を持って自我を表現することが大切だなと思いました。私はホストファミリーと夜ご飯を食べに行った時に全然お腹いっぱいにはならずハンバーガー屋さんによってほしいと言って家に帰って食べたことがあります。それからは、ご飯のたびに「足りた?」と聞いてくれるようになりました。こんな経験から海外に行ったときは自分から意志を表現すべきだなと思いました。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・英語が話せるようになる
- ・外交的になる
- ・語彙が増える

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・英語が少し好きになった
- ・英語を話すことに少し抵抗がなくなった。
- ・自信や自分をもてるようになった。
- ・ご飯が思ったより美味しい
- ・体育の授業が自由

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・フレンドリー
- ・お風呂が短い
- ・寝るのが早い

WATER COSTS SHOCK IN AUSTRALIA

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリアに行く前はオーストラリアに行った後は勝手に英語が聞こえるようになって喋れるようになっていくんだろうと考えていましたが、最初の5日ほどたって一緒にスタディーツアーでオーストラリアに行っていた仲間やホームステイ先が一緒だった友達もどんどん英語が聴けるようになっているのに自分はあまり変わっていなくて、自分から話しかけにいくことなどもしないと英語が上達することはないと気づき、現地の学校のバディーやホームステイ先の家族に積極的に話かけるようになりました。すると英語が上達しているのを実感できるほど上手になっていきました。スタディーツアーの事前学習やJTBの方からの説明会でオーストラリアでは水が貴重だから無駄遣いをしないようにとは聞いていましたが、あまり実感が湧いていませんでした。しかしオーストラリアについて飲み物を買おうとするとミネラルウォーターがコーラやジュースよりも2ドルも高く、さらにホームステイ先でもシャワーの最大の水圧が日本のシャワーの水圧の4分の1ほどでとても弱く、改めて日本の水の豊かさを感じました。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・英語を喋れるようになる
- ・日本の文化などを国際的に考えることができるようになる
- ・教科書に載っていないネイティブの人が会話で使う英語を知ることができる

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・高校一年生を10年生と表現すること
- ・コミュニケーションをとることに積極的になった
- ・食わず嫌いをしていた食べ物を食べてみようと思った
- ・水を大切にするようになった
- ・水が貴重すぎて水よりコーラの方が高かった

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・いろんな肌の色や目の色の人がいた
- ・オーストラリアのほとんどの人が時間にルーズであった
- ・日本人が意外と珍しがられた

SHOES INDOORS SURPRISE JAPANESE STUDENTS

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリア研修以前と以後で気づいたこと、変化したこと、驚いたことは2つあります。

1つ目は、物事を肯定的に捉えるようになったり、ちょっと積極的になったことです。

オーストラリアに行った後すぐに部活のテニスのダブルス試合があって、負けそうになったとき、行く前の自分やったらもう無理やと諦めていたけど、そのときはまだ頑張れるとペアと励まし合って勝てました。あと、関係ないかもですけど、部活のみんなから、オーストラリアに行ってからマインドがかわって、上手になったねと言ってもらえるようになりました。積極的になったなど感じたのは、その試合と時にあつたはじめましての人に喋りかけて仲良くなったり、あと、練習試合のために他校にお邪魔し、終わりのとき他校の人がコート整備をしていたので、積極的に動き、その人達のお手伝いをしたりしたからです。

2つ目は、日本との文化の違いに驚きました。

オーストラリアでは、はじめてあつた人とも仲良くしゃべっていました。ホストファミリーと買い物に行ったとき、ホストマザーは初めてあつた店員さんと仲良さそうにしゃべっていました。店員さんはほとんどの人がフレンドリーでやさしかったです。

あと、家の中では靴を履いて過ごすことです。やっぱり、日本にずっと住んできたので、

家の中で靴を履いて過ごすのは違和感がありました。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・ご飯全部味が濃くて美味しいと思っていたが、思っていたより味が薄かったこと
- ・オーストラリアについたら嫌でも英語喋れるようになるだろうと思っていたが、思うように喋れなかったこと
- ・友達がたくさん作れると思っていたこと。

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・多民族国家であることを知った
- ・行く前よりも物事を前向きに捉えるようになった
- ・チップ制度がないこと
- ・ちょっと積極的になった気がすること
- ・知らない人とでも喋れるようになったこと
- ・ちょっとリスニング力が上がった

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・家の中は靴を履いて過ごすこと
- ・知らない人とでも仲良くコミュニケーションをとっていたこと
- ・ホームレスが多かったこと

BREAKING THE SHELL ABROAD

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリアへホームステイに行く前、私は英語での会話に大きな不安を感じていました。学校で学んだ文法や単語は頭に入っていても、実際に話す自信がなく、相手に通じるかどうか心配でした。しかし、現地でホストファミリーと生活を共にする中で、間違いを恐れずに伝えることの大切さを実感しました。特に驚いたのは、家族が私の拙い英語を根気強く聞いてくれ、理解しようとしてくれたことです。また、日本と比べて人々がとてもフレンドリーで、道ですれ違うだけでも笑顔で「HI」と声をかけてくれる文化に新鮮さを覚えました。食事や生活習慣の違いにも最初は戸惑いましたが、それを受け入れることで自分の視野が広がったように思います。帰国後は、英語を「勉強するもの」から「使って人とつながる道具」として捉えるようになり、以前より積極的に話す姿勢が身につきました。この経験を通じて、自分の殻を破り新しい文化に飛び込む勇気の大切さを知りました。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・海外の友達ができる
- ・英語のコミュニケーション力が上がる。
- ・海外の観光地を楽しめる

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・英語のコミュニケーション力が上がった
- ・人に気軽に話せるようになった
- ・SNSはLINEではなくスナップチャットを使うこと
- ・家が大きかったこと
- ・靴で家に入ること

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・家の中に靴で入ること
- ・家が大きいこと
- ・積極的に話しかけてくること

FROM SILENCE TO SPEAKING UP IN AUSTRALIA

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



研修以前では、英語だけの生活で自分の思うように生活できるのかという不安はあったが、逆に自分の実力と英語の成長につながるというワクワクも大きかった。実際に研修を受けると、やはり最初の2日ほどは全く英語が聞き取れず、とても簡単な文まで聞き取れなかったためメンタルもやられて本当に自分の夢が叶うのかという不安が高まった。その上慣れない環境と日本と真逆の気候ではじめの2日間くらいは体調を少し崩してしまった。しかし不思議と英語を聞きつけたり、GRGの生徒との会話を続けていると同じ単語を使ってたり、生活で使う単語、このタイミングではこのようなことが聞かれるなというタイミングがわかつたりして身構えることができた。つまり研修以前は生活でどのような単語がどのような場面で使われるかを知らないから聞き取れなかっただけで、単語を知るよりのどのような場面でつかうのかを学んだ方が良いのだと気づけた。やはり、オーストラリアなこともあります、日本で習った英語だけではわからなかったり、スラングや文法のくずれた言葉などもあって、それらを理解するには苦労した。しかし、しっかりとホストファミリーとの会話をして意味を聞いたりすることで解決できた。この体験が自分の積極性の向上につながったと思う。驚いたことは、日本とはすべてが違うことで、もちろん言語が違うはあるが、文化の観点で想像以上にYES OR NOの回答を求めてきた。日本のように濁して感情の読み取りを相手に任せることはほとんどできなかった。そして遠慮をしなかったことも非常に良かったと思う。夕飯は思った以上に少ない。まだ足りないとしたら追加で作ってくれるし、ハンバーガー店に食べに行きたいなど要求すると、次の日からは「足りる?」と聞いてくれるようになった。日本とは文化は違うかもしれないが、国がどこであってもしっかりと自分の意見を伝えたほうが良いと感じたのは感情から読み取る文化のないオーストラリアにいたから気づいたことだと思う。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・英語で簡単な会話ができるようになる。
- ・外国の友達ができる。
- ・異国文化に触れる。
- ・英語が聞き取れるようになる

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・英語が聞き取れるようになった
- ・新しい世界を知れた。
- ・挑戦するようになった。
- ・オーストラリアの国土面積は日本の20倍あるのに、人口は日本よりも圧倒的に少ないこと
- ・オーストラリアで働いている日本人もたくさんいるということ
- ・日本語を勉強している学校があるということ。

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・想像以上の寒暖差
- ・見たことのない鳥
- ・大学にクラブやバーがある
- ・雨の降り方が特殊

CONFIDENCE GROWS WITH EVERY WORD

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリアへ研修に行く前までは「異国之地でトラブルがあったらどうしよう、

「自分の現在の英語の力が海外に行くにふさわしいのか」などと様々なことを考え、悩んでいたがいっしょにオーストラリアへ行った友人と会話の中でのメモや改善点を考え、それを実行することで力が身についた。また、1・2日目はミスを気にして空港や現地校でも積極的に会話をすることできなかったが、バディーからの支えもあり現地校の生徒たちと自ら進んで会話をして共通の趣味で盛り上がったり、オーストラリアの文化や食べ物、名物などについて詳しく教えてもらい、自分たちからも日本について様々なことを教えりしたことで自分自身の英語の力とコミュニケーション能力の成長を実感した。

ホストファミリーと過ごした時間の中でも、初日ははっきりと発音できていなかったフレーズや単語が最終日には言えるようになっていたり、ホストシスター・ホストブラザーにも積極的に話しかけたり、遊んだり、外出することで絆が深まったように感じた。

オーストラリアでの研修を通して言語の壁があったとしても、勉強を通じて人と積極的に交流することが大事だと感じた。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・リスニング、スピーキングの強化
- ・オーストラリアの文化を知ること
- ・英語を使用する環境でのコミュニケーション能力向上
- ・様々な国の人々が集まる中でそのような人々との直接的な交流を通して自分の考え方方がどのように変化するか

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・さまざまな人と交流する中でその人達からそれぞれの考え方について学び、自分の考え方方も変わった
- ・普段習っている英語とちょっとした発音の違いや独自の言葉があること
- ・オーストラリアの人々にとって自然や動物は身近な存在であるということ
- ・ミスを承知で話しかけたほうが実力アップにつながるということ
- ・自分が思っていたよりもハードルは低くて、現地校の生徒たちもフレンドリーに接してくれるということ

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・聞き取ることができてもその後すぐに返せるフレーズが思い浮かばない
- ・自分が想像していたより寒かった
- ・水不足で水の無駄遣いが許されない環境ということ
- ・学校で習った発音でなかったり、現地でスラングがあったこと

LEARNING CULTURES, DREAMING OF PEACE

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリアに行く前は英語を勉強してきたといつても、初めて英語を主な言語とするオーストラリアに行くことはとても緊張しました。出発前のコリーン先生とのレッスンでもすべて聞き取れたわけでもなく、出発の日が近づくに連れ緊張してきました。ホストファミリーと話していくに連れ、ファミリーの言っていることも聞き取れるようになっていきこの瞬間、英語を話すことのハードルが少し下がったように感じました。たくさんホストファミリーと会話できるようになり、徐々に生活が楽しくなっていきました。休日には動物園やシドニータワーなどいろいろなところに連れて行ってもらいました。動物園では動物の可愛さや、物価の高さにも驚きました。街の中心の方にも行ったので、街の美しさにも驚かされました。今回のスタディツアーパーを通して、改めて日本の文化の素晴らしさや他の国の文化を学び色々な国籍の人と仲良くコミュニケーションを取ることの楽しさを身を持って感じました。この経験を無駄にしないように、世界で戦争が起こっていて世界中の人々が平和に暮らせるような世の中が望まれている今だからこそ、自分にできる小さなことから始めてみたいのです。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・生活で使う現地の英語を話せるようになる
- ・自分とホストファミリーだけで生活する経験を通して生活力をつける
- ・現地の文化にたくさん触れ、戦争が起きている世界でいろいろな文化に興味を持ち、たくさんの国の人と仲良くなれるよう準備する
- ・英語に対しての考え方方が変わる
- ・もっと英語を勉強したいと思えるようになる

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・日本との文化や生活の違い
- ・オーストラリアという国についての考え方
- ・人とコミュニケーションを取ることの楽しさ
- ・意外と日本人にも合うような料理が多くて食べやすかった
- ・現地の学校でも日本の文化がたくさん紹介されていること
- ・オーストラリアは本当に多国籍だということ

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・思ったより現地の学校の生徒のみんながたくさん話しかけてくれて嬉しかった
- ・日本と違って、街の人が会釈してくれたり話しかけたりしてくれてとても雰囲気がよくてすてきな街だと思った
- ・日本との気温の差に驚いた
- ・物価の高さ
- ・スーパーに売っている食材

KINDNESS DEFINES AUSSIE SCHOOL LIFE

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



私はオーストラリアに行って驚いたことが色々あります。たとえばオーストラリアでは日本では見たことないような動物や鳥がたくさんいたことです。まちなかにとても大きなサギのようなとりがたくさんいて驚きました。また、オペラハウスの近くのビーチに行ったとき木のなかにオポッサム？がいて生活の身近なところに動物がいるんだなと感じました。日本では鳥は見かけることあっても犬や猫などの野生生物を見かけることがあまりないので新鮮な感じでした。またオーストラリアの大学や高校にいってみて、大学で無料でご飯を配っていたり、ガザの人達を助けるための募金をしていて日本とはぜんぜん違うんだなと感じました。高校ではみんなフレンドリーで毎日がとても楽しかったです。授業を受けるのも休み時間の過ごし方も日本とは違って面白かったです。高校では仲良くなったみんなと一緒に昼ご飯を食べたりスポーツをしたりしました。昼ご飯のおかずを分けてくれたりおやつを分けてくれたりして優しい人がいっぱいいるんだなと感じました。海外研修を通して今までより海外が好きになりました。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- いろいろな人に話しかけるようになる
- ネイティブの英語を聞き取れるようになる
- 英語でコミュニケーションを取れるようになる

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- 毎日しっかりと挨拶をしたりいろいろな人に話しかけることができるようになった
- 感謝の言葉を伝えられるようになった
- あまり朝ごはんに手料理が出てこなかつた、シリアルとかが多かつた
- 休み時間にスマホを触るのではなく、みんなでスポーツをしたりした
- 学校では昼ご飯のときあまり座るところがないので立ち食いが多かつた

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- あまり純オーストラリア人がいなかつた、ハーフとか他の国から来た人が多かつた
- 学校がゆるい感じでとても楽しかつた、学校の休み時間が長かつた
- シドニーでも郊外のところだったのであまり人を見かけなかつた

FRIENDLY FACES, PRICELESS LESSONS IN AUSTRALIA

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



オーストラリアに行く前、私は英語の上達や現地の人との違いを感じること、そして海外の街並みを見ることを期待していた。さらに、外国の友達をつくり、日本ではできない経験をしたいと考えていた。実際にいってみると、予想していなかったギャップも多かった。たとえば、食事ではお米があまり食べられなかつたし日本のお米のほうが圧倒的に美味しかった。そこで、日本食のありがたみを実感した。また、現地の人はとてもフレンドリーで初対面でも気軽に声をかけてくれるのが印象的だった。さらに、お店が早く閉まることや昼と夜の気温差、物価の高さなど、日本との違いに驚くこと也有った。こうした経験を通して、私は英語に対する姿勢が前向きになり、失敗を恐れず挑戦する気持ちが強くなった。また、挨拶や会話を大切にする文化に触れ、コミュニケーション能力も少し成長したと思う。そして、日本の便利さや良さを改めて実感することもできた。今回の研修は、自分の成長と気づきにつながる貴重な体験になった。

オーストラリアに行く前 に期待していた変化

- ・オーストラリアの人と日本人の違い(身長や肌の色)
- ・英語の上達
- ・街の風景を見る(海外感を感じたかった)
- ・海外の友達を作る

オーストラリアから帰ってきて、 「変化したなあ」と感じたことや、 「これは知らなかつたなあ」など、 気づいたこと

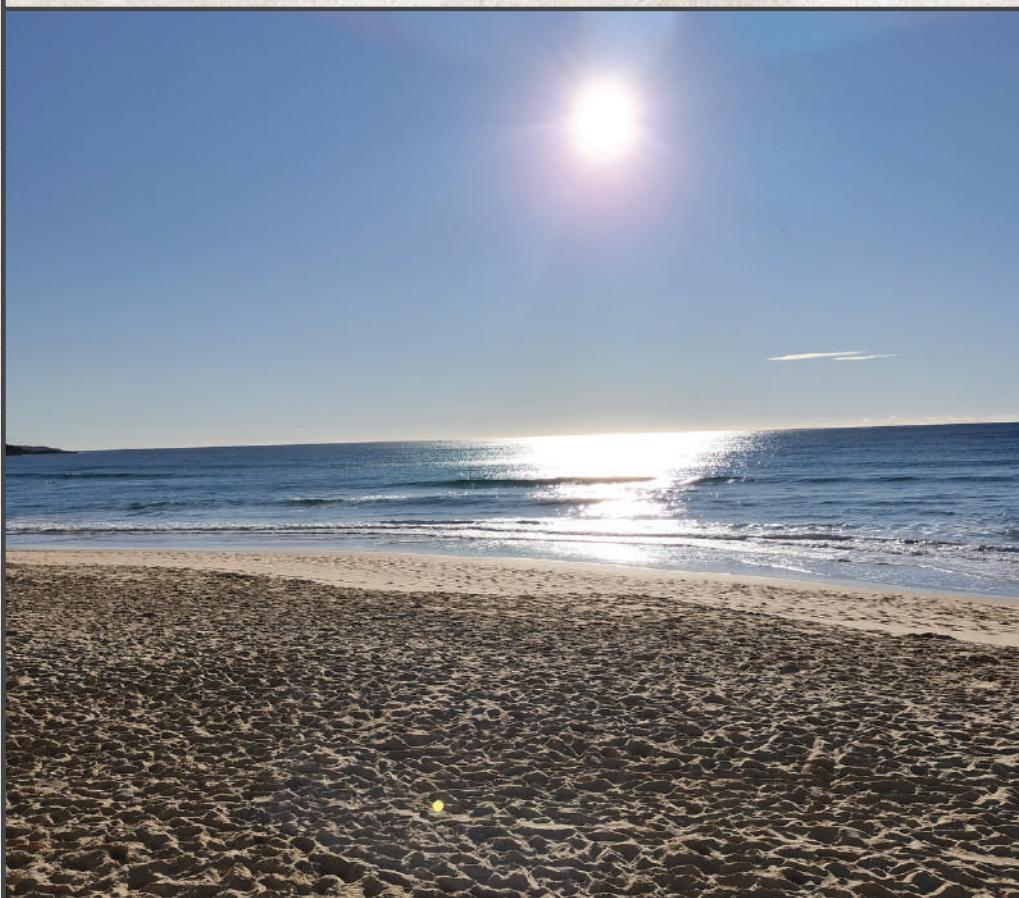
- ・英語への姿勢
- ・日本の良さを再発見(夜遅くまで営業している店)
- ・コミュニケーション能力の上達
- ・挨拶の仕方
- ・挑戦することへのハードルがさがつた

オーストラリアに行ってから 感じたギャップ

- ・食事(お米があまりたべれなかつた)
- ・コミュニケーションの仕方(日本人にくらべてとてもフレンドリー)
- ・お店の閉まる時間が早い
- ・温度(昼は暑いのに朝と夜は寒すぎる)
- ・物価(特にアミューズメント施設の値段)

FRIENDLY FACES, PRICELESS LESSONS IN AUSTRALIA

WHAT I HAVE LEARNED IN AUSTRALIA



実際に海外へ行ってみると、自分の英語力、特にリスニング力が足りないと感じました。これから英語を勉強するときは、リスニングに焦点を当てようと思います。でも、研修によってリスニング力が少しついた気がします。

また、食べ物の大きさ、店や道路の設備の違いには、さすが海外だなと思いました。日本は綺麗だとよく聞きますが、本当にそうだと実感しました。

食べ物に関しては、やはり独特なものもありましたが、だいたいは美味しく食べることができたし、新鮮な味が多くて面白かったです。

現地の方の明るさには、尊敬しました。皆さん声が大きく、年齢の差に関係なく仲良くなっている人も多かったです。フレンドリーな人が多かったので、私もあまり緊張せずに会話することができました。他人の目を気にせず、友達ができやすい社会は本当に良いと思います。私も彼らを見習って人見知りをなくしたいと思ったし、実際人見知りがマシになったように感じます。

海外に対する考え方も変わりました。私は研修に行く前、海外というのはすごく遠い存在で、日本とは全然違うのだと考えていました。しかし実際にやってみると、案外日本と同じだと感じました。そのおかげで、日本とのギャップに苦しめられることは全くなかったです。また、案外日本と同じだと知れたので、次に海外に行くときの不安は少ないだろうし、日本との違いを探すのが楽しくなります。

オーストラリアに行く前に期待していた変化

- ・食べ物
- ・新しい友達
- ・町並み
- ・文化

オーストラリアから帰ってきて、「変化したなあ」と感じたことや、「これは知らなかつたなあ」など、気づいたこと

- ・リスニング力の向上
- ・海外に対する考え方
- ・自分が明るくなった
- ・道路や店の汚さ
- ・現地の学校生活

オーストラリアに行ってから感じたギャップ

- ・食生活
- ・学校生活
- ・店の汚さ
- ・自分の英語力

令和7年度（2025年）海外スタディツアービー生徒アンケート結果

令和7年度海外スタディツアービー参加生徒17名にアンケートを実施。うち14名から回答を得た。

1. 出発前

1.1. 【出発前】参加を決めた主な目的は何ですか？

- 海外の雰囲気を味わいたかったから
- 今の自分の英語力を試すとともに、オーストラリアの文化に触れてたくさんの人と交流する
- 将来海外で働きたくて、海外の雰囲気を知りたかったから。
- 英語で簡単な会話をできるようになりたいと思ったから。たくさんの文化と触れ合いたかったから。
- 高校生という限られた時間の中で友人と共に自分の英語の実力を試せる貴重な機会だと思ったから
- 海外に行ってみたかったから
- 海外に行きたい願望
- 文化を知りたいと思ったのと少しでも英語に対する苦手意識と英語力向上のため
- 海外に行ってみたかったから。
- 新しいことを体験してみたかった
- 英語が得意になりたかった。海外に行ってみたかった
- 海外に行って本場の英語を学びたいから。
- 海外の雰囲気や英語を知りたかった
- 海外で英語を学んでみたかったから

1.2. 【出発前】出発前に不安だったこと

- 向こうの人とコミュニケーションを取れるか
- 初めて英語だけの環境に行くので英語が通じるかが少し不安だった。
- 食生活・現地の人と仲良くなれるか・ホームシック・飛行機
- ホームステイ先の人がどんな人か不安だった。現地校の人たちと仲良くできるかも不安だった
- 自分の英語の実力が現地で通用するかが心配だった
- なし
- 服の種類(半袖や長袖どっちをもっていけばいいか)
- 自分の英語でつうじるか
- 現地の人とコミュニケーションをちゃんととれるのかということ
- ちゃんとコミュニケーションが取れるのか
- 好き嫌いが多くて現地の食が食べれるかどうか
- 薬などを持ち込む際に必要な申告を自分でできるかどうか
- しっかりコミュニケーションを取れるかどうか

- アレルギーを避けることができるか

1.3. 【出発前】出発前に準備しておいて良かったこと、準備しておけばよかったこと

- ウエットティッシュ
- ホームステイでよく使うフレーズを勉強していてよかった。
- 日本のお菓子を持っていけば良かった・お土産を入れるスペースは必要・飛行機中に使う水のいらない歯磨きシートは便利だった
- バディへのお土産
- 多めの下着や服、思ったより寒かったので防寒着を持っていけばよかった
- ポーチ
- 飛行機で使うネックピロー
- ヒートテックは準備しといてよかった。厚手のジャンバーと飛行機にのるときに首につけるやつを持っていっていけばよかった
- 飛行機の手荷物に上着を入れておいてよかった
- ダウン、折りたたみ傘、小さめのバッグ
- ティッシュは持っていってよかったです。
- バスタオルを持っていくこと！3枚ぐらいあると良い。あと洗濯ネット、ルーズリーフ
- 何か羽織れるもの モバイルバッテリー、クレジットカード
- バスタオルは思っている倍いる

1.4. 【出発前】現地へのお土産で用意したもの（もしあれば）

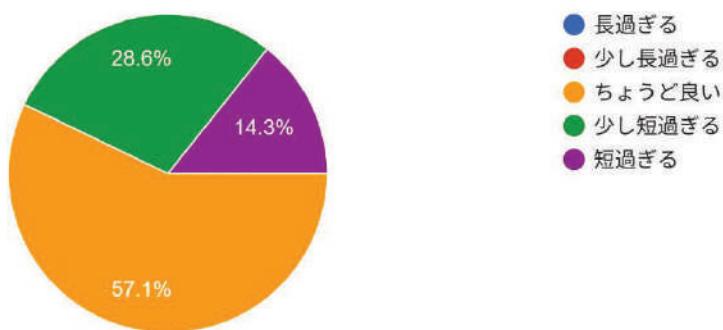
- 浮世絵がかかったもの、ボールペン、ガンプラなど
- おもしろ消しゴム・シャーペン・和柄タオル
- 渡せなかった
- 日本のお菓子や伝統的な手ぬぐいなど
- 手ぬぐい おにぎりのぬいぐるみ 将棋
- 万博があったのでミャクミャクの靴下
- 手ぬぐい、扇子など
- 染め物、文房具
- 手ぬぐい、消しゴム
- ホストファミリーの子供の男の子にはダイソーで売ってる紙製の組み立て飛行機女の子には消しゴムなど。両親にはミャクミャクのペンなどを渡しました
- フリクション（ペン）、手ぬぐい
- 日本っぽい絵柄の扇子
- てぬぐいやお箸

2. プログラムについて

2.1. 【プログラム】日数について

【プログラム】日数について

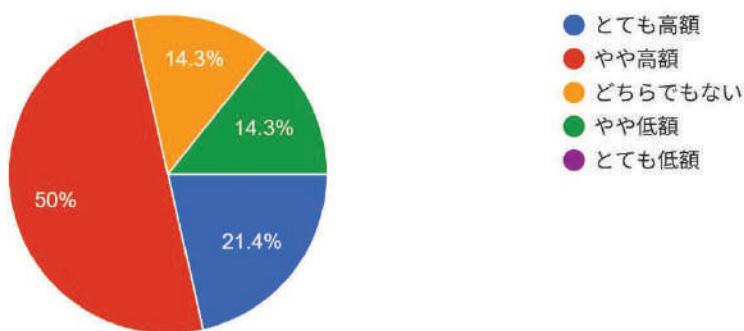
14件の回答



2.2. 【プログラム】費用について

【プログラム】費用について

14件の回答



2.3. 【プログラム】 日本とオーストラリアの学校文化の違いに驚いたことや印象に残ったことは。

- みんなパソコンを日本より使っていた
- 現地の生徒さんたちはとても明るく迎えてくれて、本当に楽しい時間を過ごせました。休み時間に自由にスポーツをしたり、お菓子を食べたりするのが日本とは違うところかなと思いました。
- 車の運転が荒かったこと・店内が汚かったこと・食べ物が大きかったこと
- 授業1時間ごとに休み時間がないこと。ティータイムみたいな感じのやつがあること
- 日本とは違ってフリーダム。授業中にオレオを渡された時は驚いた
- 授業中に積極的に質問する感じ

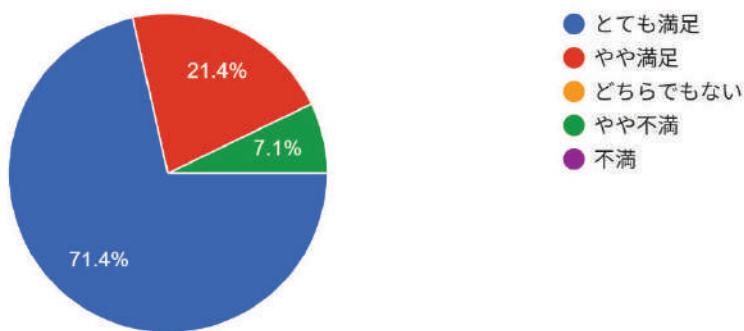
- モーニングティー
- 靴が家でもオッケーなこと
- 自分のクラスや教室が無いことと、おやつとお昼ご飯を床に座って食べること。
- 席が決められていない、教室も決められていない
- 雰囲気が日本より自由
- ホームルームなどを行う自分の教室がなかったこと、時間管理が緩い所、おやつの時間があること
- 授業が日本とは違ってとても自由な感じだった、あととてもたくさんの教科があった みんなとてもフレンドリーで初めてあった人でも軽く自己紹介をするだけで仲良くなれた
- 先生が教室に来るのではなく、すべての授業が生徒移動して教室に行く

3. ホームステイについて

3.1. 【ホームステイ】ホームステイの総合満足度

【ホームステイ】ホームステイの総合満足度

14件の回答



3.2. 【ホームステイ】何かお手伝いはしましたか。

- 皿運び
- 毎日ホームステイ先の男の子と朝食、夕食の準備をし、食べ終わったら食器を片付けて次の日のお弁当の準備（フルーツを切るなど）をして、最後にゴミを捨てに行くというのは毎日やっていました。他にも気づいたことは適宜やっていました。
- していないです！声はかけたのですが、何度も断られました。自分の食器はたまに自分で洗っていました。
- 洗濯物や片付けなどを「手伝います」と言ったり、何か手伝うことかないか聞いたりしたが大丈夫と言われた
- 皿洗い、ワンちゃんのお世話など
- してないです
- お皿を持っていく

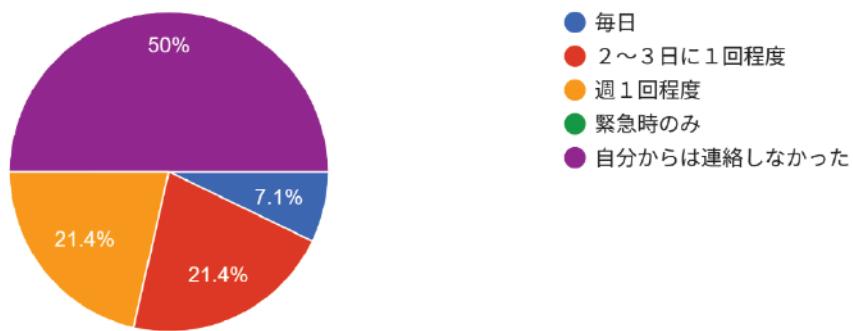
- 日本のご飯を作りました。
- 日本料理を作りました
- 何もしていません
- ホームステイ先の子供と遊んだ

4. その他

4.1. 【その他】日本のお家との連絡頻度について

【その他】日本のお家との連絡頻度について

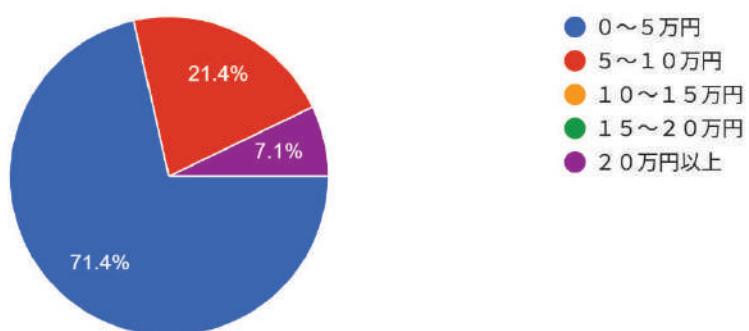
14件の回答



4.2. 【その他】滞在中の生活費、交通費、お小遣い等、現地で使った金額

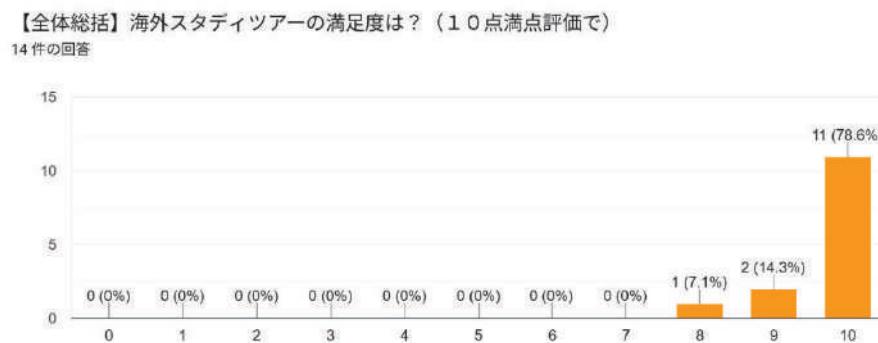
【その他】滞在中の生活費、交通費、お小遣い等、現地で使った金額

14件の回答

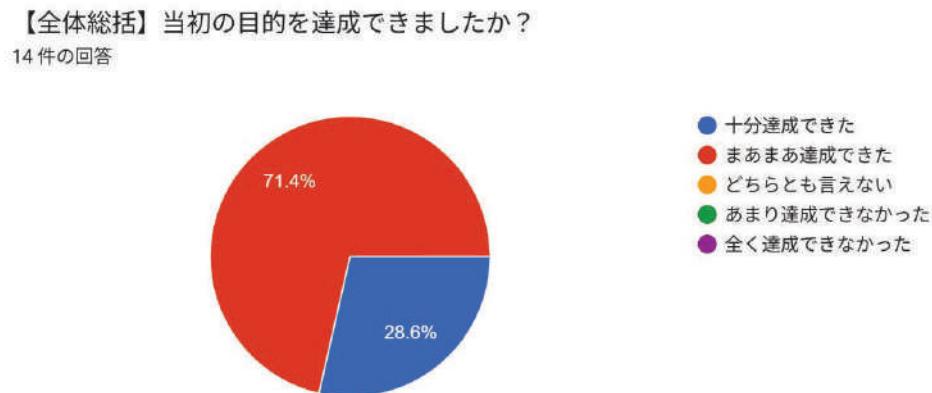


5. 全体総括

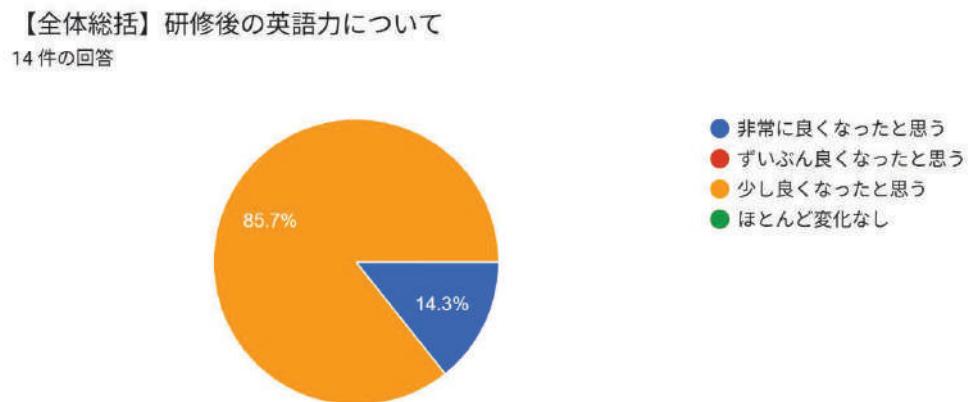
5.1. 【全体総括】海外スタディツアーハの満足度は？（10点満点評価で）



5.2. 【全体総括】当初の目的を達成できましたか？



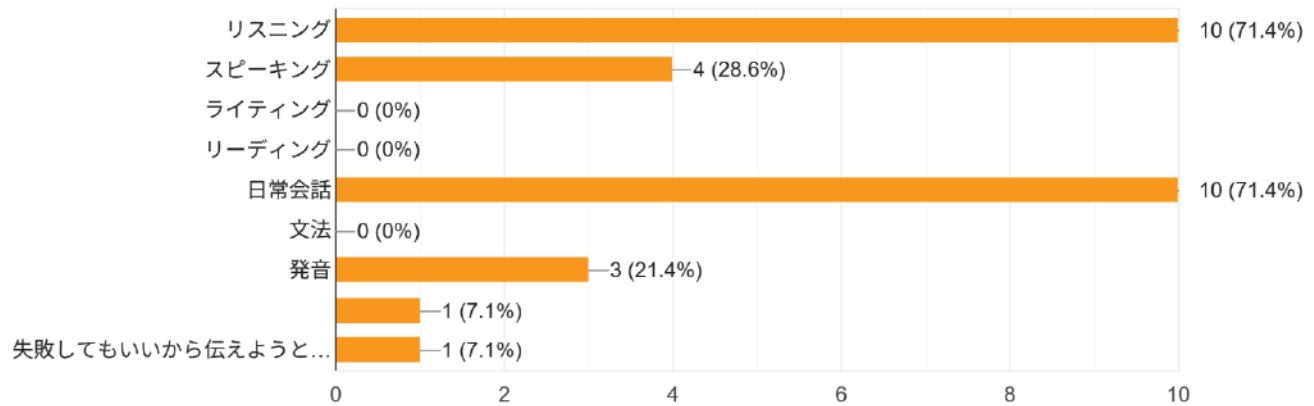
5.3. 【全体総括】研修後の英語力について



5.4. 【全体総括】特に良くなったと思う点

【全体総括】特に良くなったと思う点

14 件の回答



5.5. 【全体総括】このスタディツアーに参加して、どのような成長を実感していますか。

- 英語が聞き取れるようになった
- 英語に対しての考え方方が変わりました。そして人とコミュニケーションをとることの楽しさを実感できました。
- 現地のみなさんがフレンドリーだったので、人見知りな自分が消えたと本当に感じました。日本との違いは多かったですが、結局は地球上にあり、根本的には同じなんだなということを知りました。
- 外国人としゃべれるという実感を持てたし、表現力の大切さを知った
- 日本語を公用語としない場でのコミュニケーション能力の成長
- 英語で日常会話を話せる自信が少し着いた
- 海外の友達ができ日常的に英語に触れる機会ができた
- 相手にどう伝えたらわかってもらえるかを考えるようになった
- 行く前より英語を話すことについての抵抗がなくなった。
- 海外の人と話すことが怖くなくなった
- 英語が身近になったし海外の楽しさをした
- 友達と協力して慣れない環境でも頑張って生活すること、英語で頑張って伝えようとする力がついたこと
- 臨機応変に色々できた。
- 言葉が伝わらなくてもジェスチャーでなんとか伝えようとしてメンタルが鍛えられた

5.6. 【全体総括】このツアーを今後の生活（進路・学習・対人関係）にどう活かしたいですか。

- 海外に行った経験を進路に活かしていきたい
- この貴重な経験を無駄にしないように、定期的にホストファミリーと連絡を取ってまた会える日まで勉強したいです。希望の進路に行けるように英検準1級は取れるように、TOEICにも挑戦してみ

たいです。

- リスニング力が弱いことがわかったので、リスニングの学習に力を入れようと思います。現地の皆さんのように、これからは自分も本当の自分をさらけ出そうと思います。
- 自信を無さそうに話すのではなく、はっきりと話すということを大切にしていきたい。機会があればまた短期留学をしてみたいと思った
- この研修を経験したことで海外の人と触れ合うことについて興味を持ったため、将来的に海外語学を学ぶことに繋げていきたい。
- 一生話せる友人をしたい
- 英語の上達
- 対人関係において伝えたいこと相手にわかるように伝えたい
- このツアーにいって英語がわかると、たくさんの人と会話することができるということが自分の肌で感じることができたので、これから英語の学習のモチベーションに活かしたいです。
- 海外で仕事がしたい
- 大学生になったら留学してみたくなった
- 英語の本格的な喋り方を対人関係（英語）に活かしたい。
- 英語力を伸ばして学力アップしたい
- 色々な人に話しかけることが前よりも簡単になったので日本でも人との関わりを増やしていきたい

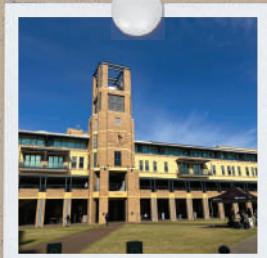
5.7. 【全体総括】次年度以降の参加者へのアドバイス

- キャリーケースは大きい方がいいです
- 休日に行きたいところがあれば早めに行っておくのがおすすめです。自分は思ったより寒かったので体調を崩さないように気をつけました。
- 現地は冬ですが、昼間は半袖が着たいくらい暖かかったです。でも、朝晩や雨や曇の日はかなり寒かったです。
宿題などは自分の部屋でやるよりも、ホストファミリーがいるリビングなどでやった方がいいと思います。案外すぐに慣れるし、ホームシックにはなりませんでした。
結局はただの会話なので、完璧な文法で話そうとせずに、「伝われば何でもいい」と気楽に考えて過ごしてください！
ホストファミリーは親切でした。でも、私含めて、あまり仲良くはなれなかったと言ってる人も多かったです、仲良くなれなくても気落ちしないでください！
- 何て言ってるか分からないことがあると思うけど、そこでなんとなく返すのではなく、聞き返したり、翻訳したりしてしっかりコミュニケーションを取る方がいいと思う。服装はそんなにめっちゃいらない。
- パスポートを身につけ続けること、現地は冬のため思ったより防寒着を持っていくと良い、現地の人々は気を使って話しかけてくれるが自分から進んで話しかけることで成長に繋がる
- 事前学習はすべて行くべき 服装は少し厚着でいくべき
- ダウンは必須、スマホに頼らず自力で英語に挑戦
- 厚手のコートを持って行く

- 買いたいお菓子やお土産を調べておいたほうがいいと思いました。
- そんなたくさんの私服がいらない五着くらいで良い
- 結構寒かったから上着は持っていたほうがいいかも
- カイロ・手袋・厚い服は必要です。現地でモコモコの服を買いました。それぐらい寒いです。
- なるべくお金は多く持っていたほうがいいと思った 服は細かい温度調整ができると良いと思った 現地では積極的に現地の人や生徒と話して交友関係を作ったほうがいいと思った
- 出発前も事前学習があったり、帰ってきてからも課題や事後学習がでて、それに合わせて夏休みの宿題もやらなければならないので、夏に忙しくなるクラブに入っている人はよく相談した方がいい。

5.8. 【全体総括】ツアーアルバム全体を振り返って、感想またはリクエストがあれば書いてください。

- とても貴重な体験ができました。また機会があれば海外に行ってたくさんの人と話して文化に触れたいです。
- 初めての食べ物がいっぱいあって幸せでした。とっても楽しかったし、本当に最高の思い出になりました！また海外に行きたいです。将来に活かせる良い経験ができました。本当にありがとうございました！
- もう少しホームステイ先との確認をしっかりとしてほしいと感じた。
- 12日間という短い時間ではあったけど現地の人々とふれあい、彼らの文化や生活について学び、英語に対して関心を深く持った日々だった。
- 事前学習を増やす
- とてもいい経験になった、いって損なし
- また行きたい
- 全てが新鮮でめちゃめちゃ楽しかったです
- めっちゃ楽しかったです！絶対行くべき！！！
- 全部がとても楽しかったです。また海外に行きたいなと思いました
- ホームステイ先には子供もペットもいてホストファザーホストマザーは日本の文化がとても好きな人で優しかったし、オーストラリアでしかできない色々な経験をさせてもらえてすごく楽しかった



memories in Australia

Yao high school

